

評議員会 議事録

日 時：2001年10月5日（金） 12時00分～13時15分

場 所：イーグレひめじ4階会議室

出席者：家、池内、井上、上野、岡村、加藤、高津、小杉、小山、谷口、長谷川、福江、福島、松田、観山、渡部 以上16名

欠席者：石黒、奥田、海部、木下、小平、佐藤(勝)、佐藤（修）、鈴木、須藤、高原、中村、野本、林、吉田 以上14名

有効委任状提出者：石黒、奥田、木下、小平、佐藤（修）、鈴木、須藤、高原、野本、吉田 以上10名。

他に理事会から田原理事長、唐牛副理事長、郷田理事、大石理事、松原理事、立松理事、茂山理事、山岡天体発見賞選考委員会委員長、東條事務長が出席
議事に先立ち、議長に家 正則氏を、署名人に池内 了氏、谷口義明氏を選出した。

報告

- 前回（2001年7月14日）の評議員会議事録が郷田庶務理事から報告され、承認された。
- PASJ会員向けの電子版アクセス制限について 天文学会員と購読機関に対するPASJ電子版のアクセス制限について理事会で決定した実施事項について郷田庶務理事より説明があった。
- 年会実行委員の補充と交替の報告
茂山年会理事（年会実行委員会委員長）より、年会実行委員会の新たな委員として鈴木知治氏、また戸谷友則氏の海外出張に伴い、河野孝太郎氏に交替した旨のことが報告された。なお、この新委員は、理事会で議決を経た上、理事長により任命されている。
- その他
(1)内地留学奨学生選考委員会からの選考結果について
西村内地留学奨学生選考委員会委員長からの2001年度内地留学奨学金の選考結果が、郷田庶務理事より代理で報告された。報告内容は、研究計画、奨学金の使途に関して詳細に吟味、議論した結果、応募者3名全員について支給することとなったという旨のものであった。

議題

- 2001年秋季年会について
茂山年会理事より、2002年秋季年会について以下のような報告があった。10月3日に開催された記者会見では、3件の発表が行われた。また、参加報道機関は8社であった。この発表に対して、現在までにも多数の報道がなされたことを確認している。さらに年会に関して本評議員会開催時点までの全体の参加者数（約630名）等の報告もあった。
- 2001年度秋季通常総会について
郷田庶務理事から本日開催予定の総会の内容、及び、本評議員会までの事前投票者数（288名）の報告があった。
- 早川幸男基金内規変更（案）について
郷田庶務理事から、日本天文学会早川幸男基金の内規の一部を変更したい旨の申し出があった。今までの内規だと、早川幸男基金選考委員には、評議員を3名含まなくてはならないが、選考委員会の任期（2年）と評議員の任期のフェーズが、ずれているため、選考委員の任期途中に、評議員の任期が切れてしまう場合等の問題点が指摘され、評議員を3名含むという規定をはずしたいというものである。現内規の制定に関する経緯も含め議論ののち、この申し出を承認し、内規の一部を以下のように変更することが議決された。

早川幸男基金内規変更：

第2条の4．援助対象者の選考の箇所のうち、以下の部分を変更する。

（変更前）理事長が、評議員3名を含む5名の選考委員（うち1名、委員長）を本会正会員の中から指名する。
（変更後）理事長が、5名の選考委員（うち1名、委員長）を本会正会員の中から指名する。

- 天文功労賞内規（案）について
継続審議事項となっていた天体発見以外の大きな貢献に対して天文愛好家を対象に授与される新たな賞の制定に対して、大石庶務理事より賞の名前を天文功労賞とすること、およびその内規案について説明があった。
また賞の制定に関わった天体発見賞選考委員会の山岡委員長からも補足説明があった。議論ののち、この内規案を承認した。選考委員会内部における申し合わせ事項案については意見交換があり、詳細は今後さらに関係者で検討するようにとの要望があった。
- 財政改革案について
松原会計理事より、学会財政の動向について状況説明があった。また、学会の予算は長期的な赤字傾向にあり、運用上の努力や抜本的な改革が早急に必要であり、理事会として改革案を検討中である旨の報告があった。それに対して、意見交換を行い、理事会での検討をさらに進めて具体案を作成するよう理事会に要望した。
- 評議員会開催通知等について
事務の迅速化および通信経費の削減のため、評議員会の開催通知を電子メールで行いたい旨の提案が郷田庶務理事よりあった。なお、定款では開催通知は書面で行うとの規定があるが、文部科学省に問い合わせたところ、この部分は運用上、電子メールでもかまわないとの返答を得ているとの説明もあった。議論ののち、開催通知は電子メールで行ってもよいことを承認した。またさらに、出欠の返答も電子メールで可能とし、委任状に関しては、自筆のものをファックスで送付することで書面による返答とみなすことを了承した。

7. 宇宙3機関の統合に関する要望書

田原理事長より、宇宙3機関（宇宙開発事業団、航空宇宙技術研究所、宇宙科学研究所）の統合に関して、統合後もこれまで宇宙研が果たしてきた共同利用機関としての役割、大学院教育等是新機関においても適切に保持され、日本のスペースサイエンスの発展につながるようなものにしないといけないことを強く訴えて行く必要性を理事会で確認したこと、またその旨を記した要望書を提出することに理事会で決定したこと、さらにその作成した要望案についての説明があった。また、統合の一般状況について、井上氏と小杉氏より補足説明があった。さらに要望書案に対して本評議員会の欠席者から事前に寄せられた意見が、郷田庶務理事から紹介された。議論ののち、要望書を出すことを承認した。また、宛先は文部科学大臣宛とすること、さらに要望書を送った旨を統合準備会議メンバー等にも通知することを決定した。要望書の文面の詳細については、関係理事で最終的に詰めてもらうことを要望した。

8. その他

(1)次回評議員会について

次回評議員会の予定を以下のように決定した。 2001年1月26日（土）

2001年11月5日

議長 家 正則
署名人 池内 了
署名人 谷口義明

[天文学会ホームページに戻る](#)